

## 第 121 回関東連合産科婦人科学会

### 総会次第

日時 : 平成 23 年 6 月 12 日(日) 12 : 45～13 : 30

場所 : 都市センターホテル 第 1 会場 (コスモスホール)

1. 開会
2. 久保田会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事録署名人の選出
5. 報告事項
  - 1) 庶務 (P. 1-3)
  - 2) 編集 (P. 4)
  - 3) 会計
6. 協議事項
  - 1) 平成 22 年度収支決算 (案) について (資料 1, 2)
  - 2) 平成 23 年度年間スケジュールについて (資料 3)
  - 3) 平成 23 年度収支予算 (案) について (資料 4)
  - 4) 会則変更等について (資料 5)
  - 5) 第 124 回会長ならびに総会開催に関する件 (資料 6)
  - 6) その他
7. 幹事交代の挨拶
8. 第 122 回会長挨拶
9. 第 123 回会長挨拶
10. 第 124 回会長 (候補者) 挨拶
11. 閉会

## 庶務報告

### 1. 会員数の異動（日産婦学会の公表による）

平成 23 年 3 月 31 日現在の会員数は 6,216 名、内高齢は 640 名、初期会員は 48 名  
（平成 22 年 3 月 31 日現在の会員数 6,124 名に比べ、92 名の増）

### 2. 物故会員（各地方産科婦人科学会の公表による）

平成 22 年 9 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの物故会員は 22 名  
名誉会員（1 名） 中村幸雄氏（東京）  
功労会員（6 名） 加藤 周 氏（千葉） 関口允夫氏（神奈川） 天神美夫氏（東京）  
本多 洋氏（東京） 岡部忠夫氏（埼玉） 山本豊作氏（長野）  
代議員（0 名）

### 3. 地方産科婦人科学会会長の異動（平成 23 年 4 月 1 日以降）

東京	離任者：久保田俊郎	新任：井坂恵一
栃木	離任者：稲葉憲之	新任：鈴木光明
神奈川	離任者：三上幹男	新任：石塚文平
埼玉	離任者：石原 理	新任：古谷健一

### 4. 代議員の異動

なし

### 5. 諸会議

平成 23 年	3 月 23 日（水）	臨時通信理事会	通信
	4 月 5 日（火）	会計担当幹事会	事務局
	4 月 20 日（金）	会計監査	事務局
	5 月 2 日（月）	幹事会	主婦会館プラザエフ
	6 月 11 日（土）	ワーキンググループ会議	都市センター
	6 月 11 日（土）	理事会	都市センター

### 6. 年会費、会員異動の連絡について

### 7. 東日本大震災への義援金について

平成 23 年 4 月 4 日

関東ブロック  
地方産科婦人科学会 御中

関東連合産科婦人科学会  
会長 久保田 俊郎



## 平成 23 年度年会費、会員異動の御連絡について

平素は、会費徴収、会員異動等種々のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、4 月 1 日より（社）日本産科婦人科学会の公益法人化に伴い、当会の名称も「関東連合産科婦人科学会」と変更することになりました。

また、いままで関東連合地方部会では会員情報を日産婦より提供いただいておりますが、  
今後は関東連合産科婦人科学会として会員情報を管理していく所存です。  
つきましては、下記の通り御連絡申し上げますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

### 記

#### 1. 初回の会員データ提供について

- (1) データ内容：会員情報、平成 22 年度までの入金情報、役員履歴  
※ 添付のサンプルファイルをご参照下さい。  
※ データ形式を合わせて下さい。  
※ 不明項目は空欄でも構いません
- (2) 提出期限：平成 23 年 4 月 20 日（水）
- (3) 提出データ：平成 23 年 3 月 31 日現在

#### 2. 平成 23 年度会費について

年会費：5,000 円（現行通り）

ただし、平成 23 年 3 月 31 日現在年齢満 77 歳以上で、かつ 40 年以上引続き  
日産婦の会員である者と初期研修の 2 年間の間に入会した者の会費は免除と  
する。

入会金：なし（現行通り）

会計年度：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

会費納入期限：平成 23 年 12 月 31 日まで

集束手数料：納入期限までに当会で受理した会費収入の手数料として会費納入会員  
1名につき250円をお支払いいたします。

3. 会費の送金方法について

三井住友銀行 新宿通支店 普通 2529982

日本産科婦人科学会関東連合地方部会

(ニホンサンカフジンカガクカイカントウレンゴウチホウブカイ)

※名称変更に伴い名義も変更予定ですが、当面現行通りとなります。

4. 入会及び退会（転出含む）の取扱いについて

(入会)

日本産科婦人科学会の入会申込書（写し）をご提出下さい。

(退会)

日本産科婦人科学会の退会届（写し）をご提出下さい。

(転出)

日本産科婦人科学会よりの月次報告（写し）をご提出下さい。

5. 会員の住所変更などの連絡について

住所変更、氏名変更、他の地域よりの異動が発生した場合、基本的な会員情報をデータにて御連絡下さい。随時でも毎月1回でも構いません。

6. 日産婦代議員の異動について

日産婦の代議員である会員の異動が発生した場合は、速やかに連絡するとともに後任者も御連絡下さい。

以上

<問合せ先>

関東連合産科婦人科学会事務局

TEL：03-3288-0993

FAX：03-5217-1192

Email：[kantorengo@jsog-k.jp](mailto:kantorengo@jsog-k.jp) ←メールアドレスが変わりました

## 編集報告

### 1. 原著号の発行

48 巻 4 号 平成 23 年 11 月発行予定

49 巻 1 号 平成 24 年 3 月発行予定

### 2. 48 巻 1 号原稿

原著・症例報告 7 編

#### 特集

エキスパートから若手医師へのレター その 1 (全その 3)

重篤な妊娠・産褥合併症 総論および特集論文 6 編

第 119 回優秀演題賞 2 編

クリニカルカンファレンス 2 編 (茨城、東京に依頼)

### 3. 48 巻 4 号原稿

原著・症例報告 11 編 (予定)

#### 特集

エキスパートから若手医師へのレター その 2 (全その 3)

さまざまな腺筋症 総論および特集論文 6 編 (予定)

第 120 回優秀演題賞 2 編

クリニカルカンファレンス 2 編 (長野、東京に依頼)

### 4. 49 巻 1 号原稿

原著・症例報告

#### 特集

エキスパートから若手医師へのレター その 3 (完結)

特集テーマ 第 121 回より選出予定

第 121 回優秀演題賞 2 編 (予定)

クリニカルカンファレンス 2 編

### 5. その他

#### 1) オンライン査読システムについて

神奈川、千葉、山梨、長野より賛同の連絡があった。6 月 12 日に説明会を開催予定。

#### 2) 学会誌の表紙リニューアルについて

48 巻 2 号より学会名称の変更に伴い表紙をリニューアルする。背表紙の帯を年ごとに色を変更する。

#### 3) 査読者の御礼について

秋の第 122 回学術集会より参加費を免除とする。

## 添付資料

- 資料 1. 平成 22 年度収支決算書（案）
- 資料 2. 財産目録
- 資料 3. 平成 23 年度年間スケジュール
- 資料 4. 平成 23 年度収支予算書（案）
- 資料 5. 会則等の変更
- 資料 6. 第 124 回会長ならびに総会に関する件

日本産科婦人科学会関東連合地方部会  
平成22年度収支決算(案)  
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

資料1

(収入の部)

項目	平成22年度 予算額 (a)	平成22年度 決算(案) (b)	増減 (△減) (a)-(b)	摘要
1.現年度会費	26,250,000	26,655,000	△ 405,000	5331名
2.過年度会費	750,000	1,045,000	△ 295,000	209名
3.雑収入	1,400,000	832,673	567,327	会誌広告×3回、会誌販売
4.総会繰越金	0	2,833,199	△ 2,833,199	119回、120回余剰金
5.積立金より振替	2,000,000	2,000,000	0	学術集会収録・ネット配信費として
収入小計	30,400,000	33,365,872	△ 2,965,872	
前年度繰越金	38,116,443	38,116,443	0	平成21年度からの繰越金
収入合計	68,516,443	71,482,315	△ 2,965,872	

(支出の部)

項目	平成22年度 予算額 (a)	平成22年度 決算(案) (b)	増減 (△減) (a)-(b)	摘要
1.会誌費	10,200,000	10,992,545	△ 792,545	4回分 6,300部/回、クリニカル補助金
2.電子ジャーナル料	500,000	511,140	△ 11,140	会誌の電子ジャーナル入力料
3.会議費	900,000	839,821	60,179	理事会、幹事会、編集委員会等
4.事務委託費	4,173,750	4,173,750	0	
5.事務費	1,950,000	1,774,070	175,930	
(通信費)	(700,000)	(706,990)	△ 6,990	郵便、NTT、プロバイダー、HP保守・更新料
(印刷費)	(200,000)	(176,558)	23,442	諸会議資料、編集査読資料
(交通費)	(900,000)	(636,600)	263,400	理事会、幹事会、編集委員会等
(消耗品費)	(50,000)	(51,006)	△ 1,006	封筒、ファイルなど文房具類
(雑費)	(100,000)	(94,575)	5,425	振込み手数料、交代幹事への記念品
(選挙管理費)		(108,341)	△ 108,341	日産婦理事選挙関連費
6.報酬	420,000	420,000	0	会計監査、税務処理費用
7.備品費	50,000	52,920	△ 2,920	PCウイルス対策、プリンタ備品
8.地方部会会費徴収手数料	1,300,000	1,362,000	△ 62,000	平成22年12月末までの会費振込人数X250円
9.関東連合学術集会 収録・ネット配信関連費	2,000,000	1,168,500	831,500	春・秋、各100万円
10.法人税・住民税等	70,000	70,000	0	法人税・住民税等として
11.日産婦補助金	500,000	500,000	0	第62回日産婦(獨協医科大学)
12.予備費	300,000	0	300,000	
13.総会費 (特別会計に振替)	8,000,000 (-8,000,000)	8,000,000 (-8,000,000)	0	119回、120回分特別会計へ
支出小計	30,363,750	29,864,746	499,004	
当期収支差額	36,250	3,501,126	△ 3,464,876	
次年度繰越金	38,152,693	41,617,569	△ 3,464,876	
支出合計	68,516,443	71,482,315	△ 2,965,872	

## 財産目録

(平成23年3月31日現在)

【資産】		(単位：円)
1	積立金	
	(1) 諸事業積立金	22,449,542
	学術集会収録・ネット配信費として	△ 2,000,000
	残高証明書発行手数料	△ 2,100
	残高証明書発行手数料	△ 525
	計	20,446,917
	(2) 学会運営積立金	25,388,820
	残高証明書発行手数料	△ 315
	計	25,388,505
2	普通預金	
	(三井住友銀行新宿通支店)	41,047,381
	(三菱東京UFJ銀行麹町支店)	100,000
	計	41,147,381
3	現金	573,128
	資産合計	87,555,931
【負債】		
4	前受金 (121回寄付金等)	100,000
	負債合計	100,000

## 監査報告

諸帳簿、銀行通帳、その他照合調査の結果、遺漏および誤りなきことを認めます。

平成23年4月20日

監査監事

杉本亮弘



監査監事

長谷川壽彦





平成 23 年度

関東連合産科婦人科学会年間スケジュール(案)

月	日	日 程
H23 4		決算書作成 会計幹事会・会計監査 幹事会開催通知発送 第 122 回総会演題募集要項入稿
5		幹事会 第 121 回理事会・総会開催通知発送 会誌第 48 巻 2 号(抄録集)発行
6	11(土) 12(日)	第 121 回 WG・理事会 第 121 回総会 (東京:都市センター)
7		第 122 回抄録締切
8		第 122 回総会プログラム抄録原稿入稿 第 123 回総会演題募集要項入稿 幹事会開催通知発送
9		編集委員会(48 巻 4 号) 幹事会 第 122 回理事会・総会開催通知発送 会誌第 48 巻 3 号(抄録集)発行
10	29(土) 30(日)	第 122 回理事会 第 122 回総会 (神奈川:パシフィコ横浜)
11		会誌第 48 巻 4 号(原著号)発行
12		
H24 1		編集委員会(49 巻 1 号) 幹事会開催通知発送 理事会開催通知発送
2		幹事会 理事会 第 123 回抄録締切
3		会誌第 49 巻 1 号(原著号)発行 第 123 回総会プログラム抄録原稿入稿
H23 年度		名称変更 会員管理システム オンライン査読システム

関東連合産科婦人科学会平成23年度収支予算(案)  
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

資料4

(収入の部)

項目	平成23年度 予算(案) (1)	平成22年度 予算額 (2)	平成22年度 決算(案)	差異 (△減) (1)-(2)	摘要
1.現年度会費	26,535,000	26,250,000	26,655,000	285,000	5,307名分(5528名(2011.3.31現在)×96%)
2.過年度会費	750,000	750,000	1,045,000	0	150名分として
3.オンライン査読収入	0			0	オンライン査読システム地方経費
4.雑収入	1,500,000	1,400,000	832,673	100,000	会誌広告35万円×4回、会誌販売
5.他会計より繰入金収支			2,833,199	0	
6.積立金より振替	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	学術集会収録・ネット配信費として
7.積立金より振替	400,000			400,000	オンライン査読システム導入費
8.積立金より振替	800,000			800,000	会員管理システム導入費
収入小計	31,985,000	30,400,000	33,365,872	1,585,000	
前年度繰越金	41,617,569	38,116,443	38,116,443	3,501,126	
収入合計	73,602,569	68,516,443	71,482,315	5,086,126	

(支出の部)

項目	平成23年度 予算(案) (1)	平成22年度 予算額 (2)	平成22年度 決算(案)	差異 (△減) (1)-(2)	摘要
1.会誌費	11,235,000	10,200,000	10,992,545	1,035,000	4回分 6,300部/回、クリエイター・エキスパート補助、レフリー謝礼
2.電子ジャーナル料	800,000	500,000	511,140	300,000	会誌の電子ジャーナル入力料・査読システム運用費
3.広報費	700,000			700,000	HP保守・更新料
4.会議費	900,000	900,000	839,821	0	理事会、幹事会、編集委員会等
5.事務委託費	4,551,750	4,173,750	4,173,750	378,000	
6.事務費	1,800,000	1,950,000	1,774,070	△ 150,000	
(通信費)	(300,000)	(700,000)	(706,990)	△ 400,000	郵便、NTT、プロバイダー
(印刷費)	(250,000)	(200,000)	(176,558)	50,000	諸会議資料、編集査読資料
(交通費)	(900,000)	(900,000)	(636,600)	0	理事会、幹事会、編集委員会等
(消耗品費)	(50,000)	(50,000)	(51,006)	0	封筒、ファイルなど文房具類
(雑費)	(100,000)	(100,000)	(94,575)	0	振込み手数料、交代幹事への記念品
(選挙関連費)			(108,341)	0	日産婦理事選挙関連費
(会員管理システム)	(200,000)			200,000	会員管理システム運用費
7.報酬	420,000	420,000	420,000	0	会計監査・税務処理費用
8.備品費	50,000	50,000	52,920	0	PCウイルス対策、プリンタ備品
9.地方会費徴収手数料	1,300,000	1,300,000	1,362,000	0	平成23年12月末までの会費振込人数×250円
10.関東連合学術集会 収録・ネット配信関連費	2,000,000	2,000,000	1,168,500	0	春・秋、各100万円
11.オンライン査読システム導入	400,000			400,000	
12.会員管理システム導入	800,000			800,000	
13.法人住民税等	750,000	70,000	70,000	680,000	法人住民税・消費税として
14.日産婦補助金	0	500,000	500,000	△ 500,000	第63回日産婦(大阪)
15.義援金	1,000,000		0	1,000,000	東日本大震災義援金
16.予備費	300,000	300,000	0	0	
17.総会費	10,000,000	8,000,000	8,000,000	2,000,000	121回分、122回分
(特別会計へ繰入金支出)	-(10,000,000)	-(8,000,000)	-(8,000,000)	△ (2,000,000)	
支出小計	37,006,750	30,363,750	29,864,746	6,643,000	
当期収支差額	▲ 5,021,750	36,250	3,501,126	△ 5,058,000	
次年度繰越金	36,595,819	38,152,693	41,617,569	△ 1,556,874	
支出合計	73,602,569	68,516,443	71,482,315	5,086,126	

## 関東連合産科婦人科学会会則(案)

### 第1章 総 則

#### 第1条

本会は、名称を「関東連合産科婦人科学会」(以下本会と略記する)と称し、事務所を東京都千代田区に置く。

#### 第2条

本会は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県の1都9県(公益社団法人日本産科婦人科学会における関東ブロックと略記する)の産科婦人科学会をもって構成し、会員は同会の会員をもってあてる。

#### 第3条

本会は産科学および婦人科学の進歩発展に貢献し、併せて公益社団法人日本産科婦人科学会およびこの法人の定める各ブロックの産科婦人科学会会員相互の親睦をはかることを目的とする。

#### 第4条

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 学術集会の開催は、春秋2回行う。春期は東京産科婦人科学会、秋期は他の9県の産科婦人科学会が交代で担当する。
2. 機関誌の発行。
3. 公益社団法人日本産科婦人科学会が行う事業への協力
4. その他

### 第2章 役員および代議員

#### 第5条

本会に次の役員および代議員を置く。

会 長 1名

次期会長 1名

次次期会長 1名

理 事 約20名(下記に該当する会員)

監 事 2名

幹 事 若干名

#### 代 議 員

理事は会長、次期会長、次次期会長、関東ブロック選出の公益社団法人日本産科婦人科学会理事、および本会を構成する関東ブロックの産科婦人科学会会長をもってあてる。

代議員は関東ブロック選出の代議員のうち、本会の理事に就任したものを除いたものをもってあてる。

#### 第 6 条

会長は総会担当学会(以下担当学会と略記する)から選出し、本会の会務を掌理する。任期は前期の総会終了後から担当総会終了までとする。

#### 第 7 条

次期会長は次期担当学会から選出し、任期は会長と同じ期間とする。

次期会長は会長を補佐し、会長に事故がある場合には会長職務を代行する。

#### 第 8 条

次次期会長は次次期担当学会から選出し、任期は次期会長と同じ期間とする。

次次期会長は会長を補佐し、次期会長に事故がある場合には次期会長職務を代行する。

#### 第 9 条

理事は業務分担の会務を執行し、庶務、編集、会計などの業務を分担する。任期は 2 年を越えないものとする。

#### 第 10 条

監事は関東連合産科婦人科学会総会において選任する。

監事は本会の事業、会計および財産を監査しその結果を総会に報告するものとする。

理事及び監事は相互に兼ねることができない。

#### 第 11 条

幹事は関東ブロックの産科婦人科学会より推薦し、理事会の承認を得て会長が委嘱する。幹事の中に幹事長をおく。

1. その他会長は、担当学会幹事として若干名を委嘱することができる。
2. 幹事および担当学会幹事は会長の指示により会務を分担処理する。

#### 第 12 条

監事、幹事の任期は 2 年とする。但し重任を妨げない。補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。

### 第 3 章 会 議

#### 第 13 条

本会は次の会議を開く。

総 会

理事会

幹事会

#### 第 14 条

本会の総会は代議制により行う。

1. 代議制による議員の名称は代議員とする。
2. 総会は代議員をもって組織する。

3. 代議員以外の会員は総会に出席し議長の了解を得て意見を述べる事ができる。ただし表決には参加することができない。

#### 第 15 条

通常総会は春秋 2 回学術集会当日開催地において会長が招集し、役員を選任、事業計画の決定、予算の審議、決算及び監査事項の承認、その他重要事項の協議決定を行う。

#### 第 16 条

総会は、会長が特に必要と認めた場合は、または加入関東ブロックの産科婦人科学会の過半数が希望した場合には、臨時に開くことができる。

総会では、出席代議員の中から議長 1 名を選任する。総会は代議員現在数の過半数の出席をもって成立するものとする。ただし、委任状をもって出席とみなす。

総会の決議は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところとする。

#### 第 17 条

理事会は毎年 3 回会長が召集する。ただし、会長が必要と認めたとき、又は理事現在数の 2 分の 1 以上から会議に付議すべき事項を示して理事会の召集を請求されたときは、その請求があった日から 30 日以内に臨時理事会を召集しなければならない。理事会は会長が議長、次期会長が副議長となり、本会の会務を審議する。

理事会は理事現在数の 3 分の 2 以上の出席をもって開催することができる。理事会の議事は出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

#### 第 18 条

幹事会は会長または幹事長が召集し、随時開催する。

### 第 4 章 会 計

#### 第 19 条

会員は、年額金 5,000 円の会費を支払わなければならない。ただし、初期研修医、および前年度末現在年齢満 77 歳以上でかつ 40 年以上引き続き公益社団法人日本産科婦人科学会の会員である者の会費は免除する。

会費は、関東ブロックの産科婦人科学会に経て、本会へ納入する。

会員数は前年 12 月 31 日現在、関東ブロックの産科婦人科学会登録会員とする。

既納の会費は、いかなる理由があっても返還しない。

#### 第 20 条

本会の会計は会費その他の収入を以て当てる。

#### 第 21 条

本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

### 第 5 章 機 関 誌

**第 22 条**

機関誌の発行は年 4 回とする。

**第 23 条**

機関誌の編集は編集委員長によって代表される編集委員会において行うものとする。

**第 6 章 公益社団法人日本産科婦人科学会理事候補者の選出**

**第 24 条**

公益社団法人日本産科婦人科学会理事候補者の選出は、別途定める細則によって行う。

**第 7 章 補 則**

**第 25 条**

本会は有償で第三者に事務所運営に関する業務を委託することができる。その委託内容に関しては別途契約書に定める。

**第 26 条**

本会の役員及び職員に対しては、費用を弁償することができる。

**第 27 条**

本会則の変更は総会の決議によるものとする。

**第 28 条**

本会則施行の日を以て平成 19 年 6 月 3 日施行の会則は廃止する。

改定

昭和 62 年 6 月 14 日

平成 5 年 6 月 6 日

平成 8 年 6 月 16 日

平成 8 年 10 月 20 日

平成 11 年 6 月 27 日

平成 11 年 10 月 24 日

平成 12 年 10 月 22 日

平成 15 年 10 月 5 日

平成 19 年 6 月 3 日

平成 23 年 6 月 12 日

## 関東連合産科婦人科学会投稿規程

1. 本誌に投稿する者は、共著者も含め原則として本会の会員に限る。なお臨床研修医などでは指導医の証明があればこの限りではない。
2. 論文の種類は総説、原著、症例報告などとし表紙の欄外にその旨を明記する。なお論文は未発表のものに限る。
3. 投稿のさいは、原稿とともにコピー2部、別紙著作権に関する書類を添付する。また投稿論文の著作権は関東連合産科婦人科学会に委譲するものとする。(なお原稿のファイルのフロッピーディスクなど電子媒体の添付あるいはメール添付が望ましい)
4. 原稿の採否は編集委員会より委嘱された査読者の意見を参考にして、編集委員会において決定する。また原稿は編集方針に従って加筆、削除、修正などを求めることがある。
5. 採用された原稿は順次掲載される。
6. 原稿はA4版横書き30字30行とし、原則としてワードプロセッサを用いて12ポイントで作成する。常用漢字と平仮名を使用して、学術用語は本学会および日本医学会の所定に従い、英語のつづりは米国式とする(例:center, estrogen, gynecology)。また頁番号を原稿の下中央に挿入する。
7. 原著論文の記述の順序は、原則として次のようにする。1頁目は表題、所属、著者名(それぞれ英文も併記、姓名はTaro YAMAKAWAのように記述する)、Key words、著者並びに校正責任者の連絡先(住所、電話、FAX番号、メールアドレスなど)、2頁目は概要(600字以内)とし、以下緒言、方法、成績、考案、文献、図、表、写真の順に記載する。また症例報告では緒言、症例、考案、文献、図、表、写真の順に記載する。論文中に図、表の引用箇所を明示する。文献の引用は、本文中の引用部位の右肩に文献番号<sup>1),2)</sup>を付け、本文の終わりに本文に現れた順にならべる。また図、表、写真の説明はまとめて別紙に記入する。
8. 投稿にあたり個人情報の取扱いは個人情報保護法を遵守すること。とくに症例報告においては患者のプライバシー保護の面から個人が特定されないよう、氏名、生年月日、来院日、手術日等を明記せず臨床経過がわかるように記述して投稿するものとする。また、対象となる個人からは同意を得ておくことが望ましい。
9. 論文の長さは文献、図、表、写真なども含めて8,000字以内(刷り上り6頁以内)とする。なお、図、表、写真は1頁に6個挿入した場合、1個が300字に相当する。図、表、写真は、それぞれに1枚ずつに分けて順番をつけ、縮小製版された場合にも明瞭であるように留意する。
10. 単位、記号は、m, cm, mm,  $\mu$ , m $\mu$ , g, mg,  $\mu$ g, l, ml,  $^{\circ}$ C, pH, N, M, Ci, mCi,  $\mu$ Ci などとする。本文中の数字は算用数字を用いる。
11. Key wordsは5語以内とする。ただし、英語とし、Medical Subject Headings (MeSH, Index Medicus) <http://www.nlm.nih.gov/mesh/MBrowser.html> を参照されたい。
12. 文献の引用は論文に直接関係あるものにとどめ、本文中では引用部位の右肩に文献番号<sup>1,2)</sup>…を付け、その順に文献をならべる。文献は著者名全員と論文の表題をいれ、次のように記載する。本邦の雑誌名は日本医学雑誌略年表(日本医学図書館協会編)に、欧文誌はIndex Medicusによる。  
例。
  - 1) 新井太郎, 谷村二郎: 月経異常の臨床的研究. 日産婦誌 1976: 28: 865-870
  - 2) 岡本三郎: 子宮頸癌の手術. 塚本治, 山下清臣(編): 現代産婦人科学 II, 東京: 神田書店, 1976: 162-168
  - 3) Brown H, Smith CE: Induction of labor with oxytocin. Am J Obstet Gynecol 1976: 124: 882-888
  - 4) Harris G: Physiology of pregnancy. P Green (ed): In Textbook of Obstetrics 2nd ed, New York & London: McLeed Co, 1976: 45-50
  - 5) がんの統計. 国立がんセンターホームページ 2006: (<http://www.ncc.go.jp/jp/>)
13. 印刷の初校は著者が行う。ただし、組版面積に影響を与える改変や組み替えは認めない。
14. 論文の掲載のための所定の費用(カラー写真など)は、著者負担とする。
15. 別刷の実費は著者負担とし、著者校正のときに50部単位で希望部数を申込む(但し50部4ページ以内は無料)。
16. 原稿の送付先は下記宛とする。  
〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-2-6 第2泉商事ビル 5F  
関東連合産科婦人科学会  
E-mail: kantorengo@jsog-k.jp

平成18年6月18日一部改訂  
平成18年10月29日一部改訂  
平成23年4月1日一部改訂

関東連合産科婦人科学会学術集会リスト

資料6

学術集会	会 長	所 属	地方 部会	会 期 会 場	参加費
第100回	永田 一郎	防衛医科大学	埼 玉	平成12年10月21日(土)/22日(日) 大宮ソニックシティ	¥10,000
第101回	森 宏之	帝京大学	東 京	平成13年6月17日 北とびあ	¥3,000
第102回	西島 正博	北里大学	神奈川	平成13年10月20日(土)/21日(日) パシフィコ横浜	¥10,000
第103回	武谷 雄二	東京大学	東 京	平成14年6月9日(日) 都市センターホテル	¥5,000
第104回	星 和彦	山梨医科大学	山 梨	平成14年10月19日(土)/20日(日) アピオ甲府	¥7,000
第105回	太田 博明	東京女子医科大学	東 京	平成15年6月8日(日) 都市センターホテル	¥3,000
第106回	金山 尚裕	浜松医科大学	静 岡	平成15年10月5日(日) グランシップ	¥5,000
第107回	田中 忠夫	東京慈恵会医科大学	東 京	平成16年6月20日(日) 都市センターホテル	¥3,000
第108回	関谷 宗英	千葉大学	千 葉	平成16年10月10日(日) 幕張メッセ国際会議場	¥5,000
第109回	木下 勝之	順天堂大学	東 京	平成17年6月12日(日) 京王プラザホテル	¥6,000
第110回	小西 郁生	信州大学	長 野	平成17年10月15日(土)/16日(日) 松本文化会館	¥5,000
第111回	久保 春海	東邦大学	東 京	平成18年6月18日(日) 都市センターホテル	¥3,000
第112回	平原 史樹	横浜市立大学	神奈川	平成18年10月29日(日) パシフィコ横浜	¥4,000
第113回	岡井 崇	昭和大学	東 京	平成19年6月3日(日) 都市センターホテル	¥4,000
第114回	峯岸 敬	群馬大学	群 馬	平成19年10月14日(日) 群馬県民会館	¥5,000
第115回	吉村 泰典	慶応義塾大学	東 京	平成20年6月15日(日) 都市センターホテル	¥4,000
第116回	鈴木 光明	自治医科大学	栃 木	平成20年11月29日(土)/30日(日) 栃木県総合文化センター	¥5,000
第117回	山本 樹生	日本大学	東 京	平成21年6月14日(日) 都市センターホテル	¥4,000
第118回	石原 理	埼玉医科大学	埼 玉	平成21年11月7日(土)/8日(日) 大宮ソニックシティ	¥5,000
第119回	岩下 光利	杏林大学	東 京	平成22年6月13日(日) 都市センターホテル	¥4,000
第120回	吉川 裕之	筑波大学	茨 城	平成22年11月28日(日) つくば国際会議場	¥4,000
第121回	久保田 俊郎	東京医科歯科大学	東 京	平成23年6月12日(日) 都市センターホテル	¥3,000
第122回	石塚 文平	聖マリアンナ医科大学	神奈川	平成23年10月30日(日) パシフィコ横浜	¥3,000
第123回	井坂 恵一	東京医科大学	東 京	平成24年6月17日(日) 都市センターホテル	¥3,000
第124回			山 梨		¥3,000